

外務省・国際交流基金の コンテンツの海外展開に係る取組

平成26年12月9日
外務省文化交流・海外広報課

外務省・国際交流基金の広報文化外交

戦略的な広報

重要な外交政策について、我が国政府の立場や主張を発信し、国民や国際社会からの理解を得る。

我が国のソフトパワーの強化

国際社会において、我が国の多面的な価値・魅力を発信し、対日理解・親近感を効果的に増進させ、我が国のプレゼンスを維持向上させる。

～広報と文化は車の両輪！～



尖閣諸島

日本のイメージ

安全保障

歴史認識

領土保全

など

重点課題

文化交流

知的・人的交流

日本語の普及



第6回国際漫画賞
最優秀賞の授与



エチオピア：整備された日本語講座用教室

適切なメッセージを構築すると共に、適切な発信者、訴求対象、タイミング、広報ツール(資料、招へい、派遣、シンクタンクの活用等)を組み合わせ、戦略的に広報を展開。

日本文化紹介、日本研究の促進、シンクタンク支援の促進、青少年交流の促進、日本語教育の充実、文化無償協力、世界文化の発展への貢献等を実施。[コンテンツの海外展開は重要な一分野\(広報の側面も有\)](#)。₂

在外公館が行う文化事業の例(コンテンツ関連)

在外公館(大使館・総領事館等)は、対日理解の促進や親日層の形成のため、外交活動の一環として、様々な日本文化紹介事業を主催乃至共催。アニメや漫画などを含む日本のコンテンツの海外発信に資する事業も積極的に実施。



ブルキナファソ・ワガドゥグ市 「アニメ文化大使『ドラえもん』」

平成25年10月

「世界アニメ映画の日」に併せ、ワガドゥグ市内の広場・小学校において、2日間で300名以上の一般人・小学生に対してアニメ文化大使「ドラえもん」の映画「のび太の恐竜2006」及び映画「ブレイブストーリー」を上映した。



リトアニア・ビリニュス市 「now Japan2013」

平成25年9月

折り紙、書道デモンストレーション、図書展示、日本の伝統的な遊びの紹介に加え、コスプレ大会や日本のテレビゲーム体験等を通じた日本のコンテンツの活用により、若い世代にも分かりやすく幅広い日本文化を紹介した。



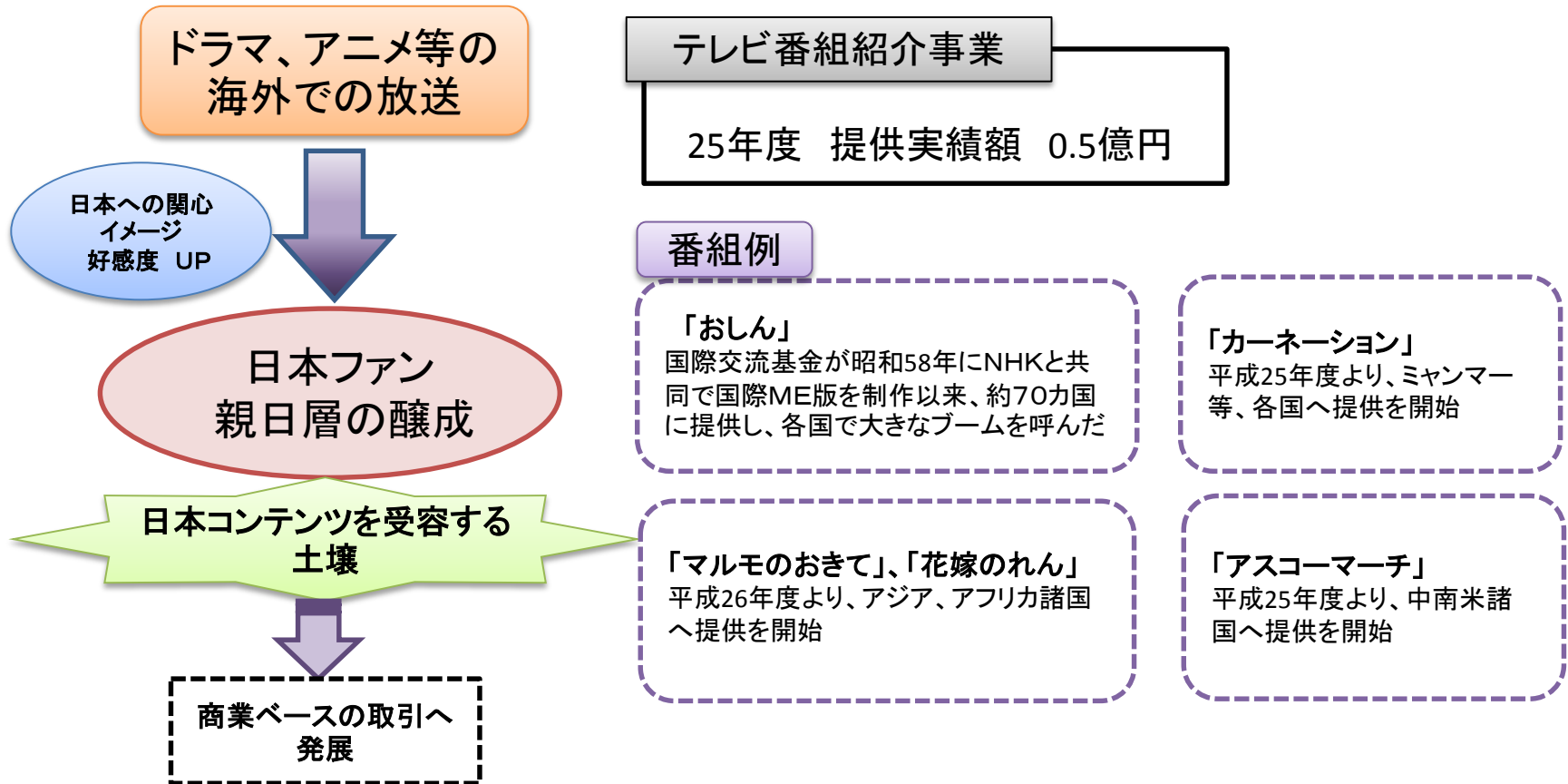
ホンジュラス・テグシガルパ市 「メガコン」

平成25年9月

ホンジュラスにおいて最大のアニメ・マンガ紹介イベントで、毎年多数の入場客を得ている「メガコン」会場において、日本を紹介する映像を上映し、けん玉大会の実施や浴衣の試着などの実演を行った。また、漫画「進撃の巨人」の著者である諷山創氏からのビデオメッセージを上映した。

国際交流基金のテレビ番組紹介事業

- (1) 目的: 日本のテレビ番組を海外の放送機関を通じテレビ放映することにより、日本文化を広く海外の一般の人々に紹介し、諸外国の日本理解を促進する。
- (2) 形態: 国際交流基金が放送用素材複製費及び放送権料の全部または一部を負担し、海外の放送局に番組を提供する。
- (3) 対象: 商業ベースで日本のテレビ番組が放送されにくい国・地域が対象 (原則として、先進国は対象外)。



国際交流基金の「文化のWA(和・環・輪)プロジェクト」

2020年東京オリンピック・パラリンピックまでの7年間で総額300億円

アジア文化交流強化事業

双方向の芸術・文化交流強化事業
ネットワーク強化、共同制作、人材育成、
文化遺産保護・活用、学术交流・・・等

アジア諸国における日本語学習支援事業
学生・シニア層ら“パートナーズ” 3,000人以上派遣

文化のWA (和・環・輪) プロジェクト ~知り合うアジア~

対等の立場、双方向、
各国のアイデンティティ尊重、
多様性の中の調和と融合

26年度新規事業

総合日本語eラーニングコース開設
東南アジアで普及しているスマートフォン、SNS等も
活用し、インターネット上の日本語学習システムを
開発

現地教師キャパシティ・ビルディング
現地の日本語教師の日本語運用力や教授能力
向上のため、日本語国際センター(さいたま)や
関西国際センター(大阪)で研修

日本語教育関係者アドボカシー招聘事業
各国の学校において日本語科目導入に権限を
持つ教育行政官、学校長等を日本に招聘

26年度継続事業

日本語教育事業として、専門家派遣、現地教師の研修、教材開発などにより、主として各国の日本語教育の基盤整備を行う。
そのほか、舞台芸術、美術、映像等を通じた日本文化紹介事業、また、知識人の招へいや知的交流会議などを実施・支援する。

文化のWA(和・環・輪)プロジェクト 芸術文化の双方向交流～主な活動例

【取組みの4本柱】

文化相互紹介、相互理解と交流の裾野拡大

文化の担い手育成、制度等の整備

ネットワーク形成、交流基盤づくり

共同制作、共同研究等の協働事業と成果発信

【事業（計画）例（2014年度）】

美術分野 事業例

●アジアにおける現代工芸交流事業

2014年5～6月、シンガポールJCCにおける「わざの美—現代日本の工芸」展を軸に、ASEAN各国から美術・工芸の専門家をシンガポールに招聘して交流の機会を提供するとともに、一般向けシンポジウムを開催。また、ミャンマー、ベトナムの若手キュレーターに対する展覧会設営研修も行った。

●共同制作展覧会『Media/Art Kitchen - Aomori, Yamaguchi』、『The Time of Others』

舞台芸術分野 事業例

●TPAM in Yokohama やFestival/Tokyoをプラットフォームとした舞台芸術交流事業

●日越共同制作オペラ『竹取物語』

●アジア若手女性舞台技術者人材研修

映像分野 事業例

●東京国際映画祭（TIFF）をプラットフォームとした映画交流事業

TIFFと連携し、アジア映画特集部門「CROSSCUT ASIA」とアジア若手新進監督3名によるオムニバス映画共同製作企画「アジア三面鏡」新設、アジア映画上映本数増、アジア若手新進監督向け特別賞創設、アジアの映画人（監督、俳優、ジャーナリスト、映画祭関係者、バイヤー・セラー等）招聘等実施。将来的な日本映画のアジアへの発信促進も目指す。

外務省（本省、在外公館）

204公館23事務所

- ・広報文化交流政策の企画・立案
- ・政策広報、日本事情紹介、招聘事業、在外公館文化事業（予算約3億円）、国際文化協力、国際交流基金の監督・活用等

国際交流基金

- ・1972年に設立、2003年に独立行政法人に移行
- ・世界の全地域において総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の組織

●人員： 役職員数 230名

●組織： 国内：本部、京都支部、日本語国際センター（さいたま市）、
関西国際センター（大阪府田尻町）
海外：21カ国に22の海外拠点を設置（2011年度当初）

●事業規模： 195.2億円（2013年度）

様々な主体
（文化庁等他省庁、自治体、
NGO、大学、財団、企業、
個人等）と
密接に連携

基金の海外拠点所在地

